

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	第2回津市行財政改革推進委員会
2. 開催日時	平成18年7月27日(木) 午後2時から午後4時20分まで
3. 開催場所	津市本庁舎4階庁議室
4. 出席した者の氏名	(津市行財政改革推進委員会委員) 中山委員長、赤塚委員、井ノ口委員、鈴木委員、千原委員、 中井委員、中村委員、二神委員、山口委員 (事務局) 渡邊助役、藤原助役、宮武市長公室長、野田総務部長、大 市健康福祉部長、葛西市長公室次長、長谷川財務部次長、 酒井行政経営課長、市川財政課長、溝田担当副主幹、山下 担当副主幹、森主査、臼井主査
5. 内容	(1) 行財政改革に係る協議の項目について (2) 行財政改革の推進に係る基本的な視点について (3) 行財政改革に係る検討 ア 効率的な事務事業の在り方(事務事業検討部会) イ 民間活用の在り方(民間活用検討部会) ウ 定員管理の在り方(定員管理検討部会) エ 健全な財政運営の在り方(財政運営検討部会) (4) その他
6. 公開又は非公開	公開
7. 傍聴者の数	0人
8. 担当	市長公室行政経営課行政経営担当 電話番号 059-229-3273 E-mail 229-3273@city.tsu.lg.jp

・ 議事の内容 下記のとおり

行政経営課長 津市行財政改革推進委員会第2回会議の開催を述べる。

中山委員長 会議の開催の前にあいさつを述べる。  
本日、宇野委員の会議欠席を報告する。また、前回欠席の赤塚委員を紹介する。

赤塚委員 自己紹介を行う。

中山委員長 前回会議の議事録の確認を各委員に依頼。議事録についての意見等は会議終了までにお願ひする。

また、本日の会議に関する会議の署名については、名簿順で赤塚委員と山口委員にお願ひをする。

事項1の「行財政改革推進委員会に係る協議項目」及び事項2の「行財政改革推進委員会に係る基本的な視点」について事務局に説明を求める。

行政経営課長 事項の説明の前に、前回の委員会で山口委員を始め鈴木委員から、「全国レベル、地方都市の水準を示せないか」、宇野委員からは「示すに当たっては単純に数字だけにとられるのではなく、10市町村の合併という特異なケース、合併の経緯も考慮すべきである」、井ノ口委員からは「合併前の各構成市町村の状況について、バブル前と合併直前の比較を」といった意見を頂いた。それぞれの意見については、項目に沿った説明を行う中で反映させながら、また財政状況につきましては、後ほどの財政運営の在り方の中で説明する旨を述べる。

また井ノ口委員から頂いた「委員会での内容等を全職員に周知を」の意見については、庁内のグループウェア等を活用し、会議の概要等の周知を行っていく。

事項1の「行財政改革推進委員会に係る協議の項目」について、資料1を基に説明を行う。

続いて事項2の「行財政改革推進委員会に係る基本的な視点」について、資料2を基に説明を行う。

中山委員長 御質問、御所見等を伺いたいと思います。

委員のみなさんには初めての資料であることから、今日この場でなく、後ほど御意見、御所見等があれば、「行財政改革推進委員会に係る協議項目等」において、後日提出していただきたい。

中村委員 資料1の項目にも書いてあるようなことは今まで津市としてはやっていたと思うが、「どの程度やっているのか」また「現状はどうか」ということの確認を求める。

中山委員長 このことについては、後の事項で4つの項目の資料が添えてあるので、そこをお願いする。

中村委員 資料1の諮問項目の中での役割というものは、総合的に関わってくる問題がほとんどであると思われる。その項目を一つ一つ行っていくのは、全体的にまとまるのが難しいのではないかと思われるが、基本的な進め方として、例えば、健全な財政運営の在り方と民間活用の在り方など関連しているものであることから、独立してそれぞれ検討していくのか、総合的に検討していくのかの認識の方を確認しておきたい。

行政経営課長 全ての項目がそれぞれ独立して検討するものではなく、それぞれの項目が全体に関連してくることから総合的に検討していただくことになる。

市長公室長 資料1は協議の項目について大枠を理解していただく趣旨である。その

中の諮問項目は、それぞれの検討部会での作業の説明になるのが、例えば、事務事業の検討項目の5項目について、集中的に意見を頂くものと現在のシステムを報告し意見を頂くものというように提案をしていく。その後、最終的には頂いた意見を基に大綱に繋げていく。

また、その他本市の行財政改革の推進に関する重要事項の中で、具体事例として三重短期大学及び競艇場の運営等の在り方をあげ、報告していく。

鈴木委員 市民への説明責任について、最終的には協議の中でどのように行っていくのか。

行政経営課長 行財政改革大綱を策定していく過程の説明責任としては、外部の委員のみなさんにお伺いをして検討する。また、具体的な検討内容の中にもあるようにパブリックコメントなど、策定する前の段階で説明を行い、最終的に策定する。

行財政改革大綱の内容では、説明責任については、「公正の確保と透明性の向上に係る検討」の中で情報公開制度の在り方、外部監査制度等で表現していくと考えている。

山口委員 公務員の方と民間の方と比較すると考え方・組織・文化がまるで違う。このことから、考え方が全然違うことを理解しないと何も変わらないと思う。

民間から途中で公務員になられた方が、市役所に入って驚いたことなど一度聞くことも1つの考え方だと思われる。

「合議」にしても、民間からきた方の不思議であると思うことについて一度新鮮な内に聞かれることが重要ではないのかなと思われるので、ぜひお願いしたい。

千原委員 項目について、検討項目を実施していく中で、検討期間についてどのように考えていくのか。また、限られた収入の中で、「何を厚く、何を削っていくのか」のメリハリはどうなっているのかなどを感じた。

私どもの会社では、事務量の調査を行っている部門があり、また約130の支店がある中で書類を全て集中化しているなど参考になるものがあれば協力できるかなと思う。

二神委員 本日の資料について、資料を事前に出していただきたい。資料を頂いたことで、委員のみなさんも会議の準備もできると思うし、また会議の議論が深まっていくという大きな利点もあると思うのでお願いしたい。完全版でもなくても、案的な状態でもよい。

行政経営課長 資料の事前配付ができず、当日になり申しわけない、今後について、資



のさしを基準にし、見直しを進めています。これについて委員のみなさんから意見を頂く。200、1800などの事務事業の個々の項目の中身のことでなく、そのときの考え方等が独りよがりになっていないかどうかについて、意見を言わせていただくことでいいのではないかと考える。

ですから、事務事業をどんな見方で整理しているかをはっきり示していただかないと議論できないのではないかと考えるのでお願いしたい。

中山委員長       では、事項3の(2)民間活用の在り方(3)定員管理の在り方(4)健全な財政運営の在り方の説明を事務局にお願いします。

行政経営課長       事項3の(2)民間活用の在り方(民間活用検討部会)について、資料4(公の施設一覧)、資料5(公の施設の管理運営の在り方に係る検討の視点)を基に説明を行う。

事項3の(3)定員管理の在り方(定員管理検討部会)について、資料6(定員管理の適正化)、資料7(給与の適正化)を基に説明を行う。

事項3の(4)健全な財政運営の在り方(財政運営検討部会)について、資料8(類似団体との財政状況比較)、資料9(財政状況の比較に当たっての留意事項)、資料10(類似団体との財政状況の比較結果)、資料11(補助金の在り方に係る検討視点)を基に説明を行う。

中山委員長       説明をしていただいた資料について御質問があれば、お願いします。

中井委員           この出された資料は公表されるのですか。例えば、資料11について、どの団体にどれくらい補助金が出されているのか公表はされているのか。

行政経営課長       補助の中身については情報公開制度という点からも、公開されているが、補助金の一覧としての公開資料はない旨を述べる。

中井委員           もう少し具体的な中身の分かる資料があれば示してほしい。

行政経営課長       補助金の名称、内容、金額、交付先等の中身の分かる資料等を現在整理中である。整理でき次第提供する。

鈴木委員           市のラスパイレス指数の全国平均は。

行政経営課長       昨年の指数の全国市の平均は97.6%です。

中村委員           資料6、8ですが、人口の数値が違うことの説明を求める。

行政経営課長       資料6の人口は、住民基本台帳人口と外国人登録人口を合わせたもので、

資料 8 は住民基本台帳人口のみの数字である。出展した資料をそのまま採用したのでこのようになった。

二神委員 資料 8 の 1 枚目の類似団体の決算額等の平均値と 2 枚目の類似団体の決算額等の平均値が同じであることの説明を求める。

財政課長 資料 8 の 1 枚目は、平成 18 年度新津市予算額と平成 16 年度類似団体の決算額であり、2 枚目は、平成 16 年度新津市（合併 10 市町村の単純合計）決算額と平成 16 年度類似団体決算額である。

財務部次長 資料 8 の 1 枚目の資料の中で、新津市の平成 18 年度予算額と類似団体の平成 16 年度決算額の比較になった。

中山委員長 時間の関係上、他に意見を求める。

井ノ口委員 今後、部会等で議論されると思うが、今からお願いすること踏まえながら議論し、次回までにお答えをいただきたい。

事務事業の見直しを検討することについて、合併協議時にそれぞれ採択基準等が違ふとか、また、合併協議の中での条件等があるとか様々な要因も含めて、ものさしの考え方を示してほしい。そのものさしの考え方の結果、どのような時期にどのように見直すかを示してほしい。個々の事業のことではなく大きな意味での考え方を示してほしい。

本庁と総合支所の在り方について、日常的な手続きと非日常的な手続きの整理が必要であるが、非日常的な手続きの取り扱いについて、意思決定の権限はどのようにするか。総合支所に権限をどのように与えるのか。与えた場合それに対して責任はどうするのか。それに対する説明責任をどのようにするのか。このような整理をするのかしないのか。整理をする場合は内容を示してほしい。

事務事業評価システムの見直しについて、事務事業評価システムについて分かりやすいものにしていただきたいので、見直しの考え方を示してほしい。

民間活用の在り方について、新しい施設を求めるときにリース等の借りるというも視点があるのかどうか。

定員管理について、職員数について、2,500 人ありきに聞こえるので、なぜ 2,500 人にするのか考え方を示してほしい。

人材育成の在り方について、職員のスキルアップについての考え方を示してほしい。

人材評価のシステムに係る検討について、現状の評価をどのようにしているのか。例えば、管理職と一般の職評価についての評価の手法や今後の

それについてどのようにするのか。また、どれくらいの時期に行っていくのかを示してほしい。

予算編成の枠配分方式について、予算の枠配分方式を導入する場合、行政分野によって事情が違ふことから予算が左右されると思われるが、このようなことについてどのような考え方（ものさしのもの）を示してほしい。

電子自治体に向けた行政運営の在り方について、ITを最大限に生かすために、ハード面の整備とともに職員に対するITのソフト面（ITの活用）の考え方を示してほしい。

その他について、短期大学と競艇場についてどのように検討しようとしているのか考え方を示してほしい。

それぞれの10の項目について、期間をどのように考えているのか、また、どのようなところに重点をおくのかも併せて示してほしい。

中山委員長 今の10項目について意見を求める。

鈴木委員 市民1人当たりの借金はどれくらいか。また地方債は、1人当たりどれくらいか、どれくらい増えるのかを示してほしい。

5年、10年、20年先の財政見通しをお示しできないか。（大雑把でいいので）

中井委員 使用していない施設の取り扱いについての考え方を示してほしい。例えば、使用していない施設をスポーツ関係、音楽関係団体等に貸し出すとかを考慮できないか。

二神委員 委員会の在り方、当日の会議で何を議論するのか明確にしていきたい。

数字を示した資料等が出されたとき、市側は何を目指したいのか、現状のままでいいのかなど何らかの方針を示してもらいたい。

中山委員長 現段階では、事務局の方は方向性が出ていないので、諮問6項目について現状の報告であり、行政の動きをしっかりと認識する段階であることの旨を述べる。

井ノ口委員 委員会が全てのことを決めるのではなく、いろいろな経験や知識を持ったみなさんから御意見をお聞きして、計画の中に反映していくことだと思っている。今回の資料について、こういうことについて意見がほしいと事務局の方は、示さないと委員には分からない。

藤原助役 行財政改革の合併後の運営について、私どもの方でも未知数なものが多い。4部会で走り出してみて、このような方向で検討していくのかなという中で少しずつ資料等を提出し、こちらの方もどのような方向へ進んでいくのかなという分からない面もありながら、みなさまにご審議をお願いすることもあるので、今の段階では、少しおおらかな気持ちで見ていただけるとありがたいと思います。また委員から頂いた宿題の部分はきちんと対応したいと思いますのでよろしくをお願いします。

中山委員長 委員から出された意見について繰り返し述べ、再確認を行う。

行政経営課長 委員から頂いた意見について、部会等で検討し、次回または次回以降にお答えさせていただく。

健康福祉部長 定員管理、給与の在り方の方針を職員から出すのではなく委員のみなさまからどれくらいが適切であるかの方針を出していただきたい。

井ノ口委員 決まったものの方針を出していただかなくてもいいが、部会としての考え方はお聞かせ願いたい。専門家である人たちの経験から考えることは聞かせていただかないと議論にならないので願いたい。

中村委員 方針ではなく、考え方を示し、テーマを出していただきたい。

鈴木委員 アンケートの内容がいつ頃分かるのか。

行政経営課長 アンケートの概要を説明し、次回に間に合うことができれば報告したい。

中山委員長 その他の事項で、次回の内容についてお示しできればお願いしていただきたい。

事項4のその他の事項について、事務局に説明を求める。

行政経営課長 次回は9月1日午後3時より市役所4階庁議室で開催を予定していることと3回以降のスケジュールについて調整させていただく。

電子自治体構築計画の作業経過は、8月の末には原案がまとまってくる。できあがり次第、見ていただき御意見を頂く。

中山委員長 御意見等が無ければ本日は終了したい。

渡邊助役 長時間大変ありがとうございました。委員のみなさんには貴重な時間を申し訳なく思います。次回以降はできるだけ議論ができるようにしてい



たいのでよろしく願います。ありがとうございました。

中山委員長

ありがとうございました。

本日は、長時間にわたり、ありがとうございました。